

提出課題 「雨」についてあなたのイメージすることを四百時程度で書きなさい。

雨の日はあまり好きではありません。なぜなら、雨に濡れるのが嫌だからです。多くの人も雨の日は嫌いだと思います。私もそう思います。しかし、雨の日にも良いところがあると思います。

例えば、雨が降ると落ち着くことがあります。雨の音を聞くと静かな気持ちになります。家でコーヒーを飲むとリラックスできます。

また、雨の日は悲しい気分になることもあります。その時は映画を見ます。雨が止むと空が晴れてうれしい気持ちになります。

このように、雨の日にはいろいろな気持ちになるので、雨も悪くないと思いました。

【評価】

- ・ 日本語表現の適切さ 4/7
  - ・ 文の構造 4/7
  - ・ 論理性 4/7
  - ・ 独自性 2/7
- (字数 1/2)

合計スコア 15/30

【コメント】

文章の流れは分かりやすく、「雨」に対する気持ちも素直に書けています。作文の基本的な形はきちんとできています。

ただし、表現がやや簡潔なため、情景や気持ちが伝わりにくいところがあります。雨の音やコーヒーを飲む場面をもう少し具体的に書くと、より良くなります。「～と思います」が続いている点も、言い換えを工夫できるとよいでしょう。

修正例

雨の日をあまり好ましく思わない人は少なくないだろう。私も雨に濡れるのは大嫌いなので、その気持ちはよく分かる。しかし、雨の日にはその時にしか味わえない情緒があり、私は雨に対してそれなりに楽しい時間を思い浮かべる。

例えば、雨が降っていると妙に落ち着いた気持ちになることがある。空の暗さや、一定のリズムで降り続く雨音のせいかもしれない。その雨音を聞きながら、家の中で淹れたてのコーヒーを飲んでいると、外の世界から切り離されたような感覚になり、心からリラックスできる。

また、時にはセンチメンタルな気分になることもあるが、それもまた味わい深いひとときだ。そのような時は、一人で泣ける映画を見ながら、静かに感傷に浸る。そして、やがて雨が上がると、洗い流されたような空気の中で真っ青な空が広がり、その開放感に心が躍る。

このように、私にとって雨とは、気分を内側に向けさせ、日常にささやかな変化を与えてくれる大切な天気の一つなのである。